

# 図書館だより

枚方市立図書館通信第127号 <http://www.city.hirakata.osaka.jp/site/citybrand-kyouikubunka/tayori.html>

発行：平成29年6月 枚方市立中央図書館（休館日：毎週金曜日、6月27日火曜日）

〒573-1159 枚方市車塚2-1-1 TEL 050-7105-8141(代) FAX 072-851-0962

6月号

## えほんのひろば in KUZUHA MALL（くずはモール）開催

5月14日（日）、くずはモール内1階のSANZEN-HIROBA（サンゼンヒロバ）で、「えほんのひろば IN くずはモール」が開催されました。

これは、枚方市として初の試みで、大阪府教育庁、枚方市教育委員会（中央図書館）、株式会社京阪流通システムズの3者による官民共同事業として実施したものの。

当日は、京阪電車のオレンジ色のテレビカーが展示される緑色の人工芝の広場に、図書館から持ち込んだ約750冊の絵本や図鑑を展示。親子連れや子どもたちが楽しそうに本を手取る中、中央図書館職員による手あそびやお話し会がスタートしました。絵本の動物たちがジャンプするのにあわせ、赤ちゃんをぴょんと持ち上げたり、一緒に手遊びなどをして、子どもたちや保護者から、大きな歓声があがりました。

京阪お祭り委員会による読み聞かせや大阪府職員による工作教室も行われ、170人以上が参加する盛況なものとなりました。

今後も、今年3月に策定した「第3次枚方市子ども読書活動推進計画」に基づき、読書が好きな子どもを増やす取り組みを進めていきます。

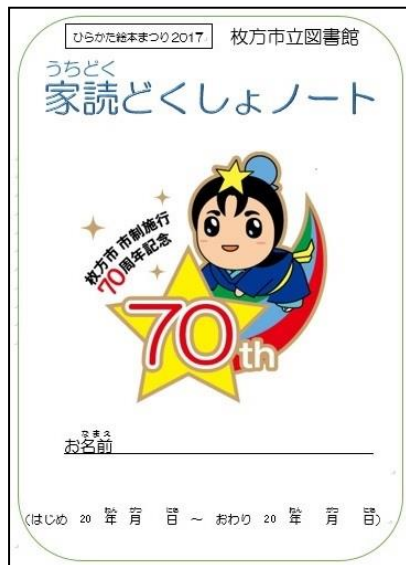


## ヘッドライン・ニュース

## ちょっと本の紹介

### ひらかた絵本まつり

### 《家読(うちどく)読書ノート》



図書館では、4月23日の「子ども読書の日」から5月12日まで「ひらかた絵本まつり」を枚方市立中央図書館を含む全8図書館および10分室で開催しました。

期間中、来館した、お子さんや保護者の方、子どもの読書にかかわる方に《家読(うちどく)どくしょノート》をプレゼントしました。

家読(うちどく)というのは、「家族ふれあい読書」の略語で、家族で同じ本を読んで家族のコミュニケーションを深めることを目的とした取り組みです。

この3月に策定した「第3次枚方市子ども読書活動推進計画」でも、家読(うちどく)の周知を図り、子どもたちの読書意欲の向上を図ることを盛り込んでいます。

家庭内で習慣的に本に親しみ、本をめぐる会話を楽しんでみてはいかがでしょうか。

### 《東京百景》

又吉直樹/作(ヨシモトブックス)

本の帯は“自伝的エッセイ”と謳っていますが、虚実ないまぜの創作もあるので、小説短編集と言ってもよいと思います。東京百か所それぞれの場所をめぐる作者の思い出をベースにした、ごく短い短編が百篇収録されています。上京したばかりの、風呂無し共同トイレのアパートに暮らす若手お笑い芸人の逸話は、どれも面白いけれどどこか切なさがつねに漂っています。それでも全体を通して、人生に対する作者の肯定的で温かな眼差しが感じられ、好感が持てます。はじめに紹介したように、本書にはリアルな思い出話ばかりではなく、シュールで幻想的な内容のものやナンセンス風のもの、独白や敬愛する文豪へのオマージュととれる作品などもあり、ところどころでスタイルを変えて書かれているので途中で飽きることなく読み進められます。「火花」発表の約2年前に刊行された本書には、まだ“作家”ではなかった作者の、多様な文学的才能の原石がちりばめられているような印象です。

(中央図書館6階選書担当)

